

■百済寺出土の埴仏■

8世紀後半、難波の拠点を維持しつつ、百済王氏は新たな拠点を交野（かたの）の地に築きます。

そこでも、百済寺（くだらでら）が築かれました。

交野の百済寺は極めてよく残っており、大阪府で2つしかない特別史跡に指定されています。

出土資料にもすぐれたものが多く、中でも、土で作られた仏さまである埴仏（せんぶつ）は注目すべき資料です。

1つの寺院からの出土数としては異例な多さであること、お寺が建った時期よりも古いことなど、重要な点が多く、大阪府の指定文化財となっています。